

城山保育園の歩みとともに

城山保育園長 松本 博幸

緑豊かな城山団地が歩み始めて40年を迎えました。三世代がともに生活する閑静な住宅街です。とても安全が保たれている環境で、住民が安心して暮らせる魅力のある土地柄となっています。日本全国で少子高齢化の波が押し寄せ、市営住宅や県営住宅の入居率も低いまま推移し、若い世代が減少している状況となって、城山小学校の生徒数も年々下がっています。

城山町の歴史がスタートして、2年経った昭和59年4月より60名定員で開園しました。保育園の活動も38年の年月を重ね、令和3年度末までには延べ718名の卒園児が巣立ちました。現在の団地に住んでいる園児は90名定員の1割ほどであり、その他の園児は周辺地域から登園しています。吉井、南八幡、倉賀野、佐野、寺尾、南陽台など広域にわたる地区ともかかわりがあります。乳児からお預かりして日々の保育を提供しながら、年長児になれば就学に向けての支援を行っています。子どもたちの住んでいる場所は様々ですが、昼間の生活の居場所としてたくさんの体験を育みながら、心身ともに丈夫な城山っ子を各小学校へつなげています。

高崎の次代を担うすばらしい人間として、日本の将来を支える人材となってほしいと願いながら、手をかけ、目をかけ、心をかけてゆったりと育んでいます。子どもたちの健やかな生活を大切にし、子どもの発達の道すじを踏まえた毎週1回

のリズム遊びを楽しんでいます。全身をつかって表現する喜びや、想像力や感性を育てる季節ごとの歌を大きな声で表現する気持ちを大切にしています。町内のたくさんの公園をはじめ、近隣の根小屋駅公園や金井沢碑、見晴台公園などは、年間をととしての体力づくりの散歩コースとなっています。

城山小学校との交流では、校庭の遊具遊びや運動会への参加、一年生との合同観劇会や授業見学などを行っています。卒園した子どもたちが成長して、城山小学校2年生の町たんけんインタビューに来たり、寺尾中学校や南八幡中学校2年生のやるベンチャー職場体験を受け入れています。

地域の皆様にはいつも温かい心と眼差しで小さい子どもたちを見守っていただき、心から感謝を申し上げます。皆様の大きなご理解とご支援のお陰により、明るく元気に成長しています。これからも職員一同心をこめて、子育て親育ちのために努めさせていただきます。最後に城山町の緑ゆたかな魅力と地域の歴史が広がって、たくさんの人々が集って楽しめる憩いの居場所に衣替えしながら、活気あふれる住みよい町へ発展することを祈念し、40周年を心からお祝いを申し上げます。

